

グループワークシート

グループ名 _____

出席者氏名	学籍番号	司会 1	記録 1	司会 2	記録 2

グループワーク 1

問題：なぜ学習評価をするのでしょうか？（学習評価の目的・意義とはなんのでしょうか？）

問題： どのような学習評価方法を使用していますか？ それらの評価方法で、何を測定しようとしていますか？

授業名	授業形態	評価方法	測定するもの	工夫や悩み
例) 哲学	講義	期末に行う論述試験 ミニレポート (5回)	哲学史についての知識 哲学的問題について、根拠のある主張が できているかどうか	工夫：試験問題を事前に配布している。 悩み：ミニレポートを評価するための客 観的な基準づくりが難しい。

課題：授業でとりあげた生命倫理学の問題の中から一つを選び、その是非について論じなさい。どのように論じても構わないが、自分の主張と根拠をはっきりさせること。また、論を展開する中で、資料を3つ以上用いること（書籍、新聞記事、ウェブサイトの情報など）。引用の仕方、参考文献の示し方は、授業で例示したものに則ること。

評価の観点	評価のレベル			点
	A（3点）	B（1点）	C（0点）	
①主張とその根拠	主張が明確であり、その主張を導くために十分な根拠が示されている。	主張は明確であるが、論証が不十分である。または、根拠が示されているが、主張が不明確である。	主張が不明確であり、論証も不十分である。	
②構成	形式的にも、内容的にも、序論・本論・結論等の明確な構造がある。	形式面、内容面のどちらかで、序論・本論・結論の構造がはっきりしないところがある。	形式面、内容面のどちらにおいても、序論・本論・結論の構造がはっきりしない。	
③資料収集	資料収集が十分になされている。 （引用されている文献が3つ以上）	資料収集が十分になされていない。 （引用されている文献が1～2つ）	資料収集が全くなされていない。	
④書式	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が守られている。	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が守られていないところがある。	指定された書式（用紙サイズ、文字数、表紙）が全く守られていない。	
⑤引用	全ての部分で、引用の仕方が適切である。	部分的に、引用の仕方が不適切なところがある。	全てのところで、引用の仕方が不適切である。あるいは、引用をしていない。	
⑥参考文献	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されている。	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されていないところがある。	参考文献に関する情報が正しい仕方で示されていない。あるいは、参考文献の情報を示していない。	
⑦適切な言葉の選択	論文に不適切な言葉遣いがない。	論文に不適切な言葉遣いをしているところがある。	論文に不適切な言葉遣いをしているところが多くある。	
⑧誤字・脱字	誤字・脱字がない。	誤字・脱字が少しある。	誤字・脱字が多くある。	
コメント				

評価の観点	評価のレベル			
	A	B	C	点数
コメント：				合計点